

警城時報

日刊 警城時報 昭和二年十一月廿九日 第百七十三号

人氣を一身にあつめ 櫛田氏下關入り

二十八日午前の豫定 平警察署に入電

人氣の焦点、青森、下の關門五百六十里本州縦断長途騎乗者上遠野村在郷軍人櫛田進之進氏は去る十月三日青森出發以來五十六日、或時は愛馬吉野號の負傷或時は又人馬疲勞を傳へられ幾度か目的地到達を危ぶまれていたが、案外無事で豫定のコースを辿り愈々本二十八日午前中に下關に着する事になった。平警察署宛に入電した、五百六十里を殊に一頭の馬で突破したのは世界に嘗てない記録で同願すれば幾多の困難に遭遇したのではあらうが出發前までは無謀の計劃として一笑に附された事でもあり、壯圖を遂行した櫛田氏の快心は思ひやられぬ。

有意義に活動したい 平町實業界の味方として

平商友會の計劃

平町實業界の卒業生により組織として全會員が今一層努力されてゐる商友會では既に卒業して多額の基本金を得た者も、現在二千圓の基本金を有してを確立し平町實業界の味方として、其基本金より生れる利子で、眞に有意義な事業を遂行して、余り少額なので社見たいと考へてゐると言つてゐる。會には有力なる事業を計劃するが、夫れは最近に於ける平町學能は、爲の吉田會長以下會商人が卸小賣商共に他地方商人等も、爲め、同會幹部の意向滑に行はれ来りつゝある炭礦方面

道路改修

平町から小名濱町に通ずる道路

平町から小名濱町に通ずる道路が、愈々同町田代屋方十二月一日から一般銀行事務を取扱ふ事になった。

青年訓練所生二名 自動車に轢かる

一名は生命危篤 今朝神谷村地内で

草野村青年訓練所生二十四名は上仁井田早川祐治所有同人運轉二十八日平町まで行軍を行ふ事の貨物自動車に轢かれ平町鎌田町金成病院に入院加療中である。阿部は輕傷、鈴木は生命危篤である。

年末の街頭に 失業者群むる

救済に手を焼く平署

不景氣風はどめどめ吹きまくり弱人間達を苦しめてゐるが、平地方は炭礦界の不振により一層疲弊困憊し殊に過般好間村古河炭礦元山の休山等により失業者の群むる状態にわたつて殆んど餓死線上にさまよつてゐる状態、自然平町職業紹介所を訪れて就職口を探す者も増え、来たが、商店等も同様に不況で求人者殆んどなく、如何にしてこの失業者の群を救済するか、就いて平警察署でも手を焼いてゐる。

石城理髮總會

石城 内千圓を事業費に、千圓を事務費に積み立てる事及び縣聯合會主催の酒、醬油品評會は明年に開かれた縣下理髮業者大會に出席した菅野、野崎、安齊三氏の報告を兼ね二十五日湯本町尾屋旅館に開き役員改選を行つた結果左の如く決定した。

平禪學會

平禪學會例會は去る五日開會する等であつた。栗山講師の都合で休會、二十八日午後六時半合で例會を警城銀行樓上に開き、自前、満足な食物をとれ同情し金若干宛を與へたので平

假死の幼児を背負ひ 平署に泣こんだ父親

同情した署員、平消防幹部 幼児はそのまゝ死亡

茨城縣多賀郡日立町字滑川一二出頭救護方を頼ひ出た、平署四番地遠藤平助(三三)は昨年暮で藤沼醫師に診断せしめた處、妻と生別し以來長男織(二ツ)を二時間と生きてゐないとの事な抱けて勞働をなしてゐたが、日ので署員も同情し人事相談所で立地方では思はしくないので此旅費を給し郷里に歸るやう勧め程警城地方炭礦で稼がうと幼児を世鈴木小頭、高根澤、阿部佐川各を背負ひ來山したが、幼児を世鈴木小頭、高根澤、阿部佐川各話する者がなかつたため労働も出来な長並に縣衛生課渡邊防疫吏も、自分さへ満足な食物をとれ同情し金若干宛を與へたので平

命を拾ふ 産婦人

石城郡水戸村大字合戸松崎モト

石城郡水戸村大字合戸松崎モト子は此程來病氣の爲め種々治療濱町宇古港職工金成善平(三〇)したが其効果なく悲觀してゐた三森清吉(三五)小野照吉(三六)處知巳の勧めにより平町共濟病馬山金作(二五)笹原久義(二七)院の診断を受けし子宮外妊娠松澤之助(二〇)の六名は二十と判明二十五日、病院産婦人科六日午後十二時頃同町中明神馬部長野秋善直氏の執刀により手八右衛門門方で車座となり花術をなしたるに果せるかな前診札使用の賭博開帳中同町駐在瀬斷通りにして障害物全部を僅々戸、武藤兩巡査に捕はれた。

小名濱の賭博

一角君の短信

(前略) 當地紅葉ももうすたり始めました。昨日荷路夫の分教場へ行つた。山の川山に向つて流れ行き山樓居海を平和にばかり見川柳でもない、川柳が出来ました。一家無事御安下さい田人村 渡邊一角より

一角君の短信

(前略) 當地紅葉ももうすたり始めました。昨日荷路夫の分教場へ行つた。山の川山に向つて流れ行き山樓居海を平和にばかり見川柳でもない、川柳が出来ました。一家無事御安下さい田人村 渡邊一角より

命を拾ふ

石城郡水戸村大字合戸松崎モト

石城郡水戸村大字合戸松崎モト子は此程來病氣の爲め種々治療濱町宇古港職工金成善平(三〇)したが其効果なく悲觀してゐた三森清吉(三五)小野照吉(三六)處知巳の勧めにより平町共濟病馬山金作(二五)笹原久義(二七)院の診断を受けし子宮外妊娠松澤之助(二〇)の六名は二十と判明二十五日、病院産婦人科六日午後十二時頃同町中明神馬部長野秋善直氏の執刀により手八右衛門門方で車座となり花術をなしたるに果せるかな前診札使用の賭博開帳中同町駐在瀬斷通りにして障害物全部を僅々戸、武藤兩巡査に捕はれた。

平禪學會

平禪學會例會は去る五日開會する等であつた。栗山講師の都合で休會、二十八日午後六時半合で例會を警城銀行樓上に開き、自前、満足な食物をとれ同情し金若干宛を與へたので平

一丁目の 消火器を盗む

最近平町に不良の徒輩が横行してゐる。その中では嚴重取締をなしてゐるが二十七日朝平町一丁目裏に据付てゐる平火防組の消火器が紛失してゐた。発見直に平署に届け出たので犯人捜査中であるが数日前も紛失し二度目の事として不良少年の悪戯であらうと言はれてゐる。

大和田醫院

耳鼻咽喉科
電話一七〇番

長途騎乗

榊田氏の通信
(第廿四信)

▲二十五日(晴)八時三十分岩國町出發、川風寒き錦帯橋に馬跡を印し錦川の左岸岩石を切つた北向きの道路を踏を踏みつゝ御庄村、師木野村に至る、此地から玖珂町に通ずる二里余の國道は昔の儘を幅員のみ廣げた處で、老松並木處々にあり、二軒家、欽於路等の急坂あり、玖珂町にて盡食す、一時半出發、高森村から山中峠を越え熊毛郡に入り高水村を経て午後四時勝間村呼坂に到着宿泊す、分會長以下の歓迎は例の如し。二十八日下の關入の豫定。人馬大元氣。(二十六日午前三時四十分)

病院組織

内科	院長 醫學博士 新井 寬太郎
外科	部長 木村 淳
皮膚泌尿科	部長 秋善 直
婦人科	部長 野村 善
衛生試験部(理化學的検査)	主任 醫學博士 新井 寬太郎
藥劑局	主任 醫學博士 新井 寬太郎
病院長	醫學博士 新井 寬太郎
診療部	主任 醫學博士 新井 寬太郎
検査部	主任 醫學博士 新井 寬太郎
病棟	主任 醫學博士 新井 寬太郎
病室	主任 醫學博士 新井 寬太郎
病舎	主任 醫學博士 新井 寬太郎
病室	主任 醫學博士 新井 寬太郎

お待ち兼ねの
特製生菓子
御祝儀折詰物
野特製パン
日曜日に限り二割引
是非御來店の程お願いいたします
永野キャンディーストア
平町二丁目(電話七五五番)

濟命ピリン

高貴藥
定價 廿錢 卅錢 五拾錢 壹圓
かきネツ 頭痛 齒痛 神經痛 リウマチスの方よ!!
一時も早き、め第一の本劑を服薬され健康体になられよ
發賣元 平研町 水野藥局
有名藥店にあり

七五三祝着大賣出し

十一月廿四日(舊一日)より
七五三の樂しき御祝が近づきました。可愛た子供さんの時着が澤山入荷しました。弊店は京都織物見本市へ参り然も優秀珍品を豊富に仕入れて來ましたから何卒御用命の程を
一、千代田式模樣(四ツ身付付) 一、友仙金紗縮緬 一、小紋金紗 一、尺三寸五帶地 一、友仙モスリン 一、御紋付各種
▲特價品の一部、一、金紗小紋縮緬五圓
拾八圓より、一、金紗小紋縮緬五圓
▲江戶妻▲丸帶▲長襦袢 新館には時々流行品の御祝儀用 ▲江戸妻▲丸帶▲長襦袢 新館には時々流行品の御祝儀用
平町三丁目 三井吳服店
電話三八七五

靴

大塚支店開業以來の御買ひ時!!!
驚異的...靴の投げ賣
自製優良革底...靴
最上ポツクス革 半編上靴 七五五ヨリ
赤革 半編上靴 九〇〇ヨリ
キツト黒茶 半編上靴 三三〇ヨリ
全部自家製品ニテ一足毎ニ弊店マーク貼付
平町三丁目 大塚支店製靴部
電話七〇二番

オートバイ 賣物

(委細面談)
平町白銀町
高島屋洋服店
電話八〇七番

釜屋商店

和洋鋼鐵 金物問屋
釜屋商店
電話一九三九番
確實敏捷は釜の生命なり!!!

牛肉大投げ賣り

並肉 百々金三十錢
上肉 同 金五十錢
口肉 同 金七十錢
ヒロレス 同 金九十錢
平町停車場前(平劇場入口)
深谷牛肉店
電話五二四番

靴とかばん

◎御注文は特に勉強
◎既成品も豊富にあります
平町搔搔小路(役場前)
福山靴店

セメント

壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目
電話三三番

磐城炭礦ノ石炭

常磐第一ノ
大炭礦ナル
石炭ニコークスの特長
①品目方ノ正確
②品質ノ優良
③配達ノ迅速
④一、度便ヘバ永久ニ御使ヒ下サルノガ當店石炭ト「ニコークス」ノ特長デス
植段正十貫目一俵 金六十五錢也
平町前
阿部石炭商店
電話三三七番